

4 大学との連携による京都の経済・文化・地域の活性化

まちの将来像

産学公地域連携による活力にあふれたまち

大学が有する人財や研究開発力・研究成果が、京都の多様な産業や地域コミュニティと協働・融合し、伝統産業や伝統文化など京都の誇る個性を継承・発展させるとともに、世界で最先端の産業や文化を創造し続け、社会問題の解決や地域活性化などの課題に対して、常に日本で最先端の取組モデルを展開し続けるまちを目指します。

施策項目

リーディング施策

- (1) 「京都発イノベーション」大学との連携によるものづくり技術の継承・発展
京都市
- (2) 「飛び出す大学」大学と地域の連携・コーディネートの仕組みの充実
京都市 コンソーシアム

推進施策

- (1) 産学公の連携による京都経済の活性化 京都市
- (2) 教育・研究分野の新展開を目指す大学との連携強化 京都市
- (3) 地学公の連携による地域課題への対応 京都市 コンソーシアム
- (4) 小中高大(院)連携の推進 京都市 コンソーシアム
- (5) 大学をいかした芸術文化環境の向上 京都市 コンソーシアム

リーディング施策

(1) 「京都発イノベーション」大学との連携によるものづくり技術の継承・発展

京都の産業、特にものづくりは、伝統的な産業から最先端の高度な研究開発まで、大学や大学研究者などの知的資源・ノウハウとの連携・協働によって発展してきました。

今後もこの関係を更に発展させていくため、産学共同研究プロジェクトにより最先端の技術シーズを産業化し、京都市の産業競争力の確保と新規事業創出の拠点となる「京都市成長産業創造センター」^{注18}における取組を推進します。



京都市成長産業創造センター

また、京都市産業技術研究所における伝統産業技術者研修など、大学が有する知的ノウハウをいかし、技術継承や職人技術の保全・継承など、伝統産業の維持・継承を図ります。

主な具体的取組

- ア) 「京都市成長産業創造センター」における产学共同研究プロジェクトの推進
- イ) 「研究成果展開事業（スーパークラスタープログラム）」^{注19} や「地域イノベーション戦略支援プログラム」^{注20} における産学連携による環境分野の研究開発及び事業化の推進
- ウ) 京都産学公共同研究拠点「知恵の輪」^{注21} における地域の大学との共同研究推進

(2) 「飛び出す大学」大学と地域の連携・コーディネートの仕組みの充実

京都市では、まち全体がキャンパスとしての役割を果たし、京都のまちで生活する学生の成長をまちぐるみで支えてきました。また、地域に対して、大学は、その教育・研究成果の蓄積や学生の活力による地域の課題解決、活性化に一定の役割を果たしてきました。今後とも、京都市と大学の連携事業や、地域と大学・学生の連携・協働をコーディネートする事業を推進します。

また、平成25(2013)年度から文部科学省が地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的として「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」^{注22} を実施するなど、社会の期待や要請に大学が応える仕組みも整ってきています。このように、大学が地域に果たす役割が増している中、大学と地域双方の連携や協働を進めるための支援やコーディネートの仕組みを更に充実していきます。



学まちコラボ事業「公開プレゼンテーション」

主な具体的取組

- ア) 京都市の部局や区役所と大学との協定締結による連携事業の推進
- イ) 地域による主体的なまちづくりを支援する「区民提案・共済型まちづくり支援事業予算」における大学・学生枠の設置などによる事業の推進
- ウ) 地域活性化や課題解決に向けた大学と地域の一体的な取組を支援し、学生の学びの機会を創出する「学まちコラボ事業」の推進
- エ) 京都の大学に設置された社会連携センター、地域連携センターなどのネットワークづくり、大学と地域とを繋ぐマッチング・コーディネートの仕組みづくり
- オ) 文部科学省「地(知)の拠点整備事業」採択校との連携と、今後申請する大学への助言・提案など支援の推進

推進施策

(1) 産学公の連携による京都経済の活性化

① 産学公連携コーディネート機能の向上

大学研究者の研究内容、大学が有する特許をはじめとした知的財産などの大学シーズの活用事例や連携事例などの情報発信の充実などにより産学公の各機関が情報を共有し、連携・協働による取組を進めていくため、そのコーディネートの役割を担う「京都産学公連携機構」^{注23} や京都市産業技術研究所の活動を強化していきます。

② 文系学部と企業の連携強化 新規

京都の総合力を発揮して新事業・新産業の創出を図るため、文理融合分野・文系分野において産学公連携を促進する「文理融合・文系産学連携促進事業」を推進します。

また、観光人財の育成など、大学と関連産業界の連携によって、京都市の産業戦略と連携・協調した専門人財の育成に努めます。

③ 大学をいかした国内外コンベンションの誘致支援

京都市が展開するコンベンション誘致支援の仕組みをいかし、研究者の人的ネットワークや所属学会を通じた国際会議・学会の誘致を支援します。

④ 国内外の高度人材との交流の推進による新たな価値の創造の促進 新規

国内外の優れた研究者や芸術家などの多彩な高度人材を呼び込み、京都の研究者や学生、企業人との高密度の知のネットワークを構築することによりイノベーションを創出し、新たな価値を生み出す「京都・高度人材交流拠点(仮称)」の設置を検討します。

(2) 教育・研究分野の新展開を目指す大学との連携強化 新規

大学の教育・研究分野の新展開に関する情報を早い段階から共有し、京都市の施策との連携促進につながるようコーディネート機能を強化します。

(3) 地学公の連携による地域課題への対応

① 地域の問題解決につながる都市政策研究の推進

「大学のまち京都」が有する知の集積を活用し、未来の京都づくりに向けた政策を創造するための調査・研究を行うとともに、若手研究者などの発掘・育成とネットワーク形成を図る「未来の京都創造研究事業」を実施します。

② 地学公連携の市民への周知 新規

市民の「大学があってよかった、学生がいてよかった」という意識を醸成するため、大学の地域貢献や地域と大学との協働による事業を紹介する「地学連携ウェブサイト」を充実させます。

(4) 小中高大(院)連携の推進

① 高大連携の強化

高校と大学がともに学び合い、育ち合う関係の構築に向け、共同授業や出張授業の充実など、大学コンソーシアム京都における京都高大連携研究協議会を中心とした高校と大学の連携を強化します。

また、高校・大学のニーズの把握に努め、高校生や保護者に京都の大学の学びを紹介する「京都の大学『学び』フォーラム」^{注24}の充実と、企画への高校関係者の参画を促進します。



京都の大学「学び」フォーラム

② 市立小中学校・高校と大学の連携強化

市立小中学校・高校教員の教育技術の向上や新しい専門情報の取得に向け、市立小中学校・高校と大学の共同研究、教員養成のための研修の充実を促進します。

また、高校の授業の支援と大学生の現場体験機会の拡充に向け、大学生に対する参加意識の啓発や「学校サポート事業」^{注25}などによる学生ボランティアの小中学校・高校への派遣を促進します。



学校サポート事業

③ 産学公連携による京都市らしい教育システムの構築

産学公とメディアで構成し、次世代の教育のあり方や人財育成の方向性を検討する「京都教育懇話会」^{注26}活動を推進し、京都発の先進的な次世代教育の研究や取組を発信します。

また、産学公や市民ぐるみで子どものものづくり体験機会の充実に取り組む「京都子どもモノづくり事業」^{注27}を推進します。



地下鉄駅構内への作品展示

(5) 大学をいかした芸術文化環境の向上

① 芸術系大学の集積をいかした芸術文化力の向上 新規

地下鉄駅への学生の芸術作品の展示など、芸術系大学の共同による学生作品の展示や市民が作品にふれる機会づくりを促進します。



地下鉄駅構内への作品展示

② 歴史・文化の蓄積をいかした社会人向け学習機会の提供

ブランド性の高い既存プログラムの拡充や大学間連携のメリットをいかした科目的開発、市民が参加しやすい日時の開催など、「大学のまち京都」ならではの生涯学習プログラムとして実施している「京カレッジ」^{みやこ}の更なる魅力の向上を図ります。

③ 文化芸術教育プログラムの推進 新規

芸術系5大学と小中学校、行政で構成する「京都芸術教育コンソーシアム（Art-e Kyoto）」^{注28}を中心として、市内の小中学校における美術教育の充実を図り、文化・芸術的素養を持った子どもを育成するとともに、フォーラムの開催などにより芸術教育の取組を広く紹介します。また、芸術系大学と市内の小中学校との間での、音楽・芸術活動の体験・発表の場づくりを進めます。

④ 若手芸術家・クリエイターの育成 新規

京都在住芸術家を支援する「東山アーティスツ・プレイスメント・サービス（HAPS）」^{注29}、京都芸術センターにおける若手芸術家の総合的支援、「京都版トキワ荘プロジェクト」^{注30}などを推進し、伝統芸術から映画やマンガなど新しいコンテンツを含め、次代の京都の文化・芸術の振興を担い、新たな京都文化を生み出す若手芸術家・クリエイターを育成します。

注 18 京都市成長産業創造センター

…大学・研究機関、企業などの产学研公が連携し、化学分野における最先端の大学の研究成果を実用化につなげる研究プロジェクトを推進することにより、付加価値の高い高機能性化学品の創出を通して、産業競争力の確保・新規事業の創出を図る研究開発拠点。

注 19 研究成果展開事業(スーパークラスタープログラム)

…各地域で取り組まれてきた地域科学技術振興施策の研究成果をいかしつつ、国際競争力の高い広域連携による「スーパークラスター」を形成することを目的とする事業。京都地域は、省エネ効果のあるSiCデバイスの社会実装普及などを目指した「クリーン低環境負荷社会を実現する高効率エネルギー利用システムの構築」をオール京都で提案し、平成25（2013）年10月4日に本事業の中核をなすコアクラスターに採択。

注 20 地域イノベーション戦略支援プログラム

…地域が主体的に実施する产学研公連携によるイノベーション創出のためのシステム整備を図ることを目的としたプログラム。京都地域は、エネルギーを「蓄える」「創る」「うまく使う」の観点から世界のエネルギー問題に貢献する研究開発の支援などを目的とした「京都次世代エネルギーシステム創造戦略」をオール京都体制で提案し、平成25（2013）年7月1日に採択。9月1日から事業開始。

注 21 京都产学公共同研究拠点「知恵の輪」

…独立行政法人科学技術振興機構から高度研究機器（無償貸与）の配備を受け、桂イノベーションパーク及び京都リサーチパークにおいて、京都大学などのバックアップを得ながら、先端光加工プロジェクトとバイオ計測プロジェクトを推進し、機器の共用による共同研究の促進や高度技術者の育成などを展開する事業。

注 22 地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)

…自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学を支援することで、課題解決に資する様々な人財や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的とした文部科学省の事業。

注 23 京都产学公連携機構

…京都における产学研公のあらゆる機関が相互に情報を共有しながら、連携と協働を進めるための基盤として平成15（2003）年2月に設立。

注 24 京都の大学「学び」フォーラム

…大学コンソーシアム京都加盟校の特色ある模擬講義や体験型講座などを通じて、高校生や保護者に京都の大学の学びを紹介する高大接続のプログラム。

注 25 学校サポート事業

…市立幼稚園・学校において、学生ボランティアが、学級活動や部活動の補助など、児童・生徒に関わる学校活動を支援する事業。

注 26 京都教育懇話会

…京都の産学公とメディアで組織され、次世代の教育についてのあり方、人財育成の方向性を模索し、先進的な取組を京都から全国へ発信していくことを目的とした組織。

注 27 京都子どもモノづくり事業

…「ものづくり都市・京都」の特性をいかし、産学公連携・市民ぐるみにより、小中学生がモノづくりを学び・体験する機会を創出する取組。

注 28 京都芸術教育コンソーシアム

…市立小中学校と連携し、美術教育の充実や芸術を大切にする風土づくりに取り組むため、大学コンソーシアム京都加盟の芸術系5大学(京都市立芸術大学、京都嵯峨芸術大学、京都精華大学、京都造形芸術大学、成安造形大学)と京都市、京都市教育委員会、市立小中学校によって設立された組織。

注 29 東山アーティスト・プレイスメント・サービス(HAPS)

…京都在住の芸術家の居住・制作・発表の包括的支援や地域や国内外と芸術家のネットワーク形成など、文化芸術がポテンシャルを發揮できる環境の創造を目標とした取組。

注 30 京都版トキワ荘プロジェクト

…京町家を活用した安価なシェアハウスの提供やマンガ家向け講習会の開催など、マンガ家志望者がプロとなるきっかけを提供するコミュニティづくりの取組。